人　事　上　の　効　果

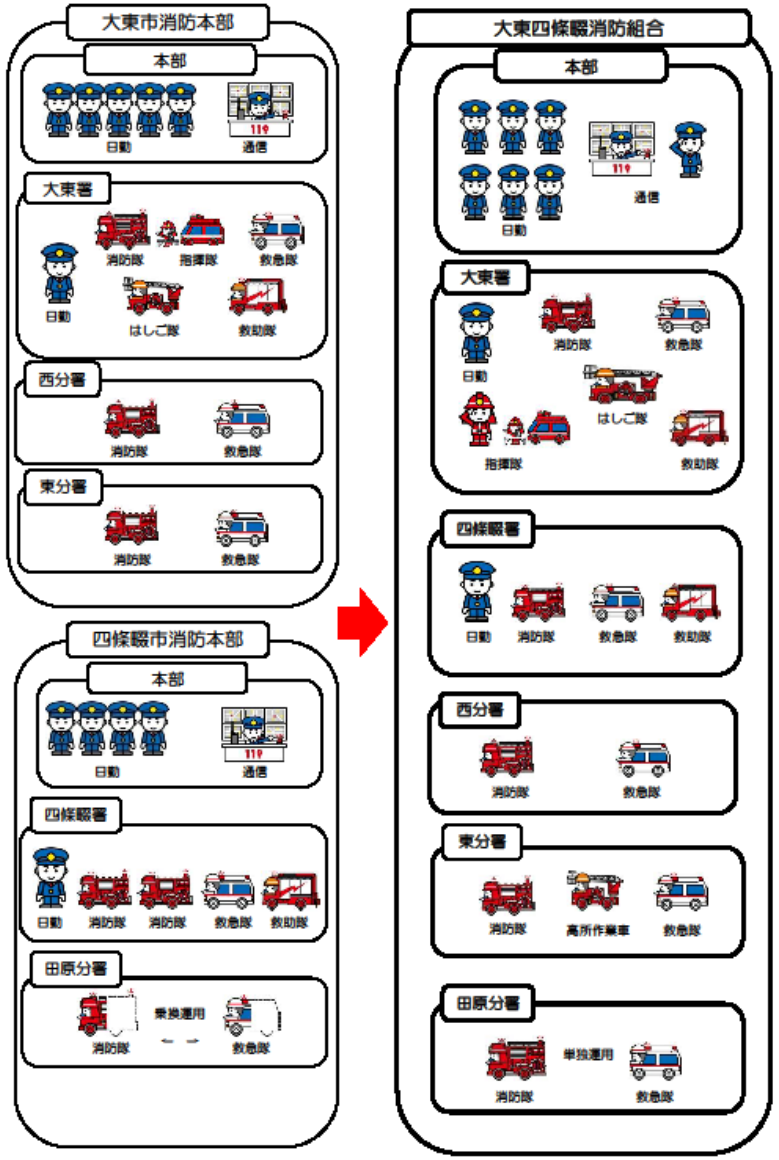
ここでは広域化により、現場活動要員の増加、隊員の専任化や専門的な研修派遣の充実による技能向上など、人事上の効果を紹介します。

（１）本部機能統合による現場活動要員の増加

広域化により、両消防本部の事務部門（総務課、警防課、予防課）及び通信指令室を統合し一元化したことで、現場活動要員を増員することができました。

現場活動要員の増減

広域化前	広域化後	人員の増減(当直者数)
四條畷市消防署　調査車を運用(1名)	大東消防署　指揮隊に統合	3名減
田原分署 当直勤務者数(4名)	田原分署 当直勤務者数(7名)	9名増
-	高所作業車　新規導入(2名)	6名増
	現場活動要員 ⇨	12名増加



（２）専任隊による隊員の高度化

現場活動要員が増えたことで、一部で兼任隊であった隊をすべて専任隊にすることができ、より専門的な訓練や研修等を実施することが可能となりました。これにより隊員の知識・技術の高度化が図れています。

《瓦礫救出訓練の様子》

（３）人材育成等による組織力強化

①　高度な研修派遣等の充実

消防大学校や府立消防学校教官、救急救命士養成など、広域化前に派遣できていなかった高度な職員研修の計画・継続的な実施が可能となり、併せて専門的な業務研修への積極的な派遣により、職員の知識・技術とモチベーションが向上しています。

また、職員数が増えたことで、幅広い人材から適材適所の配置が可能となり組織力強化に繋がっています。

高度な研修派遣等

派遣先	年度	研修名	人数
消防大学校	28	上級幹部科	1
	29	上級幹部科	1
	29	幹部科	1
大阪府立消防学校	28	消防学校教官	1
	29	消防学校教官	1
大阪市消防局高度専門教育訓練センター	27	救急救命士養成課程	1
	29	救急救命士養成課程	1

採用試験倍率

年度	受験者数	募集人数	倍率
26	57	8	7.1
27	67	6	11.2
28	92	8	11.5
29	63	3	21.0

② 優秀な人材の確保（採用試験の受験倍率が増加）

各種学校訪問やホームページを通じて、広域化による組織力強化をＰＲしてきたことで、組織イメージの向上から採用試験受験者の増加に繋がり、結果、多くの受験者から優秀な人材を発掘することが可能になりました。また、採用試験説明会の開催や学校等の就職説明会に積極的に参加するなど、採用試験を企画段階から消防職員が担当することで、優秀な人材確保に繋がっています。

《採用試験説明会の様子》

☆☆ その他の効果 ☆☆

① 女性消防吏員の活躍推進

女性消防吏員は、現在９人在籍しており、国が当面の目標としている女性消防吏員の比率である５%に、ほぼ近い４．８%となっています。

規模が大きくなったことで活躍する場も増え、平成２９年度には、すべての署所に女性職員が当直勤務できる施設を整備することができました。また、女性幹部職員の育成を目的に平成３０年度には府立消防学校教官に派遣するなど、女性職員が活躍できる環境が整備されています。

平成29年10月1日時点

配属	警防課	予防課	消防隊	救助隊	救急隊
人数	2	1	1	1	4

《救急救命士として活躍する女性職員》

② 独自のホームページで情報を発信

広域化前は、それぞれの市ホームページで情報を発信していましたが、広域化後は、ホームページを独自で運用することにより、消防に関する情報や職員採用情報、実施した行事などをタイムリーに掲載することができ、情報発信力が向上しています。また、消防では例の少ないバナー広告を取り入れることができたことにより、ホームページ維持管理経費の負担軽減が図れています。

消防組合ＨＰ　ＵＲＬ：http://www.ds119.jp/